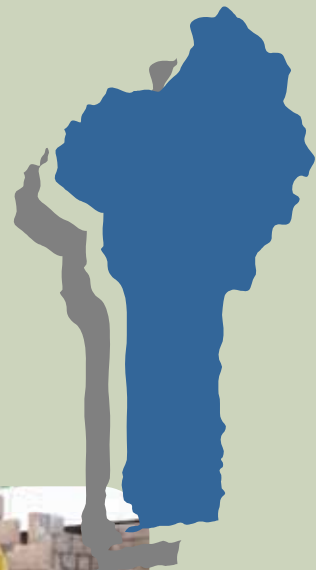


世界の国を知る 🌐 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 ベナン共和国 



【表紙の写真】

(左上)
ベナンの子どもたち。
くりくりの眼が本当にかわいらしい。

(右下)
ポルトノボの雰囲気ある建物。

 辻坂文子

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜベナン共和国?

第1章 ベナンってどんな国?

=平和と笑顔、心の豊かな国=

- 05 クイズ100人に聞きました!
- 07 ベナンってどんな国? ベナンを旅しよう!
- 09 ベナンにまつわるウソ?ホント?
- 11 ちょっと刺激的なベナン料理
- 13 ちょっとブレイク マイ・ボンバで気分はベナン人♪

第2章 へえ〜! ベナンと日本

- 15 外国語を学ぶということ…ベナンの日本語教育
- 17 フォトギャラリー

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

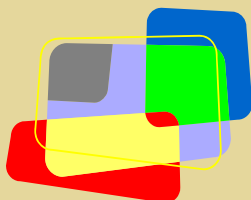
- 19 悲しい歴史『奴隷貿易』がアフリカに残したもの
- 21 平和の国ベナン、でも…
- 23 フォトギャラリー

第4章 そして未来へ

- 25 『多文化共生社会』ってどんな社会?
- 26 号外! 号外! 20年後の新聞です
- 27 多文化共生社会と地球的課題

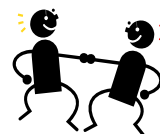
参考資料

- 29 目で見るベナン
- 31 ベナン地図
- 33 「ベナンってこんな国」ふりかえりシート
- 34 「地球の未来を創る」シート
- 35 参考文献・データ等の出典
- 35 ご協力いただいた方たち
- 35 2008年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい!!つなげていきたい!!
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

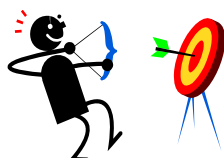
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえるようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、ベナンのほんの一面です。本書だけでベナンのすべてがわかるわけではありません。ベナンに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

※ カラーデータ・写真の著作権は出典元または（財）愛知県国際交流協会に帰属します。教材は、学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一ロコラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



ちょっとブレイク！一ロコラムです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の撮影者です。

なぜベナン共和国？

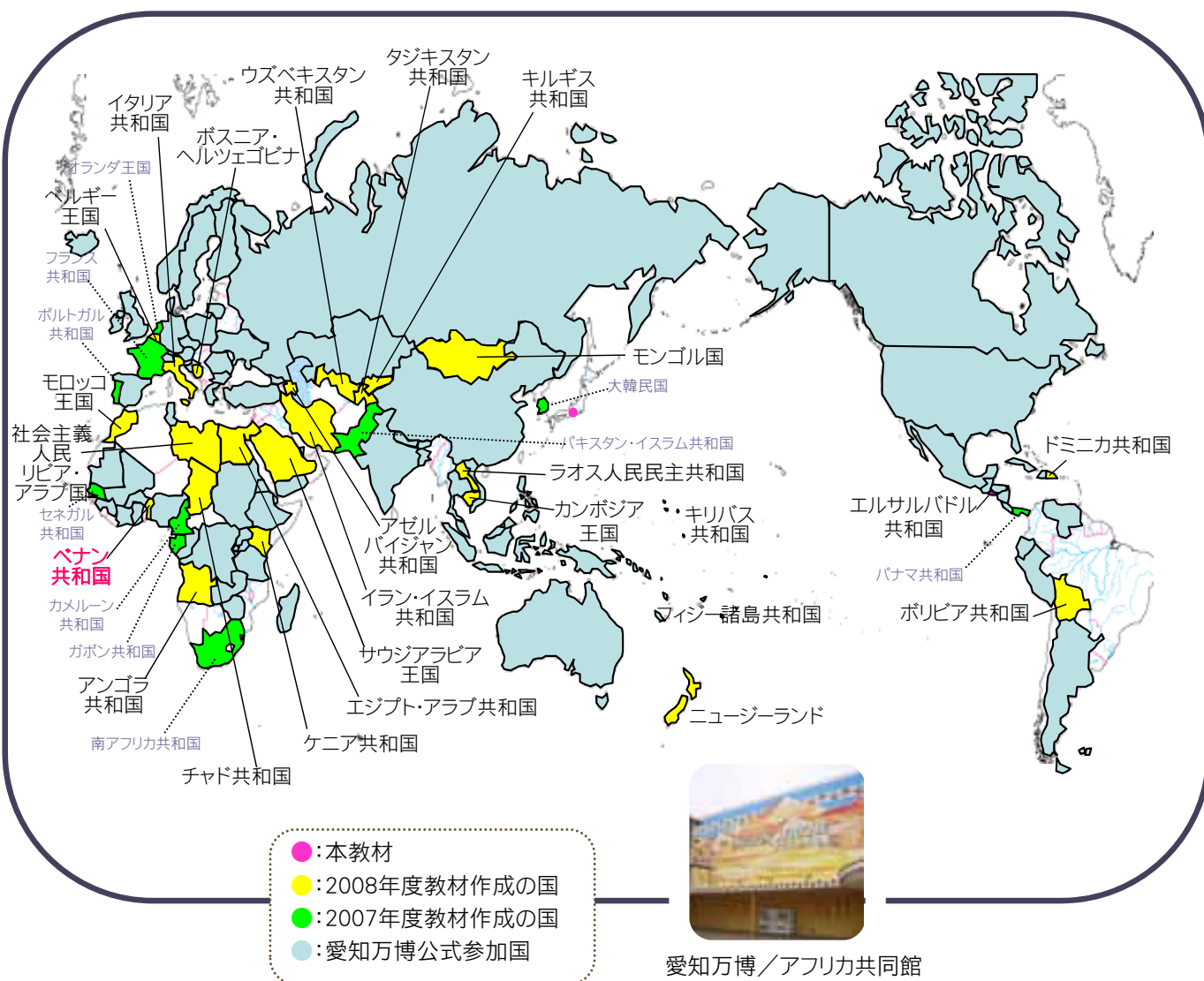
始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

そして、**ベナン共和国**のホームシティは、**一宮市**でした。

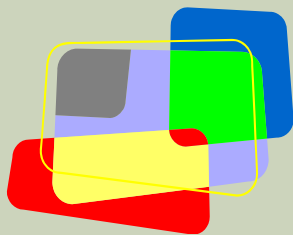




第1章

ベナンってどんな国？

＝平和と笑顔、心の豊かな国＝



クイズ100人に聞きました！

① ところで、みなさんはベナンのこと、どのくらい知っていますか？

① ベナン共和国はどこにあるでしょう？ ここだと思う国に色を塗ってください。



② アフリカで知っている国をできるだけたくさん書いてください。

③ ベナンといえば何を思い出しますか？人・物・イメージなど何でも思いつくもの、知っている人などできるだけたくさん挙げてください。

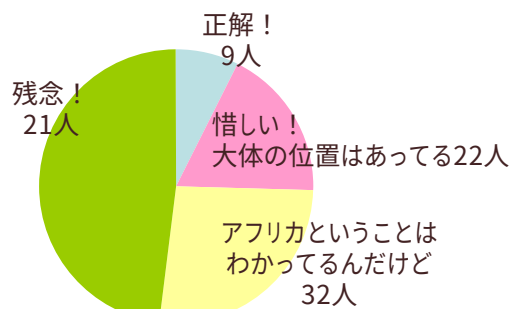
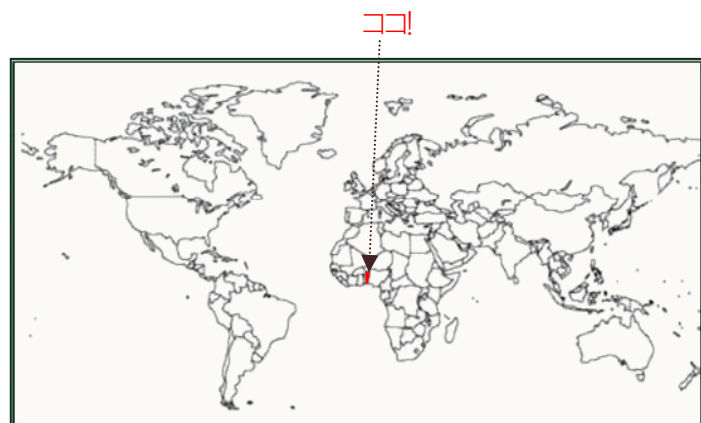


同じ質問を一宮市の小学生84人に聞いた結果は次のようになりました。



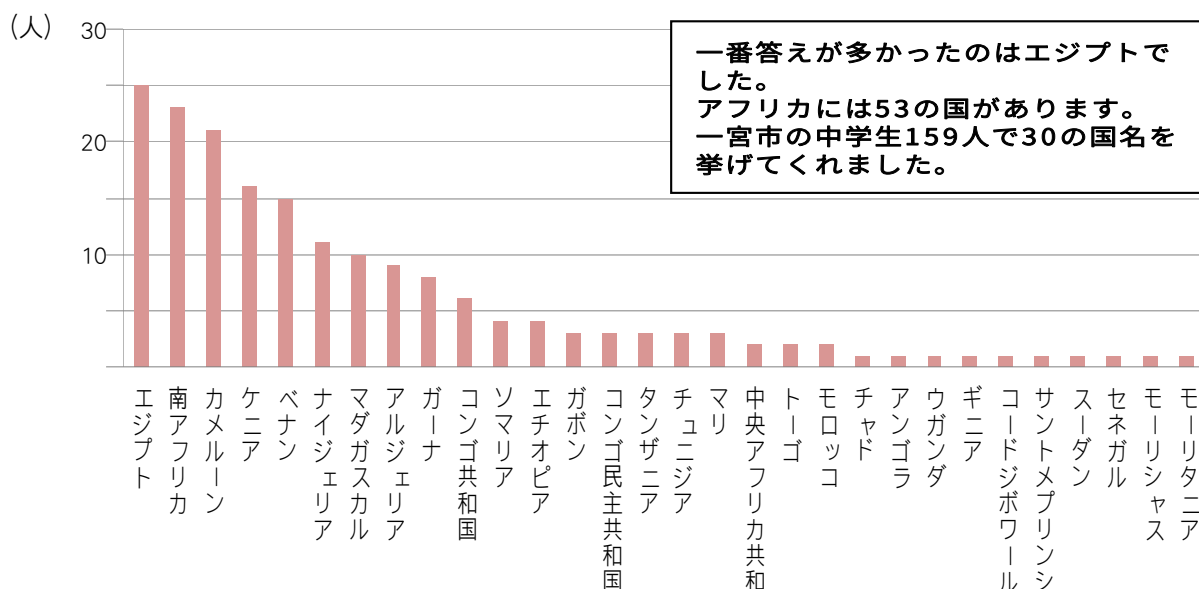
まずは「知らないこと」に気づくことから始めましょう。

ベナンはどこ？



ベナンがアフリカにあることを知っていた人が半分以上いました。
国名は聞いたことがあっても、アフリカはたくさん国があるので、正確な位置まで答えるのは難しいですね。

アフリカで知っている国は？



一番答えが多かったのはエジプトでした。
アフリカには53の国があります。
一宮市の中学生159人で30の国名を挙げてくれました。

ベナンと言えば？ ベナンのイメージは？

多かったのは「黒人 (43人)」「肌が黒い (6人)」「黒人が多い (6人)」というイメージでした。ほかには「暑そうなところ (9人)」「暑い (8人)」「日本より暑い (4人)」「ベナンは暑い (1人)」「温かい (1人)」「暑くて赤道に近い (1人)」など、ベナンは暑い国という印象を持っている人が多かったようです。

黒人 (43) / 貧しい (14) / 暑そうなところ (9) / 暑い (8) / バナナ (8) / 砂漠がある (8) /
肌が黒い (6) / 黒人が多い (6) / 象 (6) / カレー (5) / アドゴニー (5) / ナン (4) / 日本より暑い (4) / クスクス (3) / 水不足 (3) / 外国 (3) / 建物がたくさん (3) / マザー・テレサ (3) / ナイチンゲール (3) / ベートーベン (3) / モーツァルト (3) / アンネ・フランク (3) / 緑豊か (3) / アフリカ (2) / 動物がいっぱいいる (2) / 草原 (2) / 緑 (2) / マンゴー (2) / 食事などが少なくて困っている (2) / 楽しそう、明るい (2) / 体格が大きそう (2) / 学校に壁がなく、さく (2) / 森林 (2) など

ベナンってどんな国？ベナンを旅しよう！

① 次の写真の中で、ベナンのものはどれでしょう？

A



B



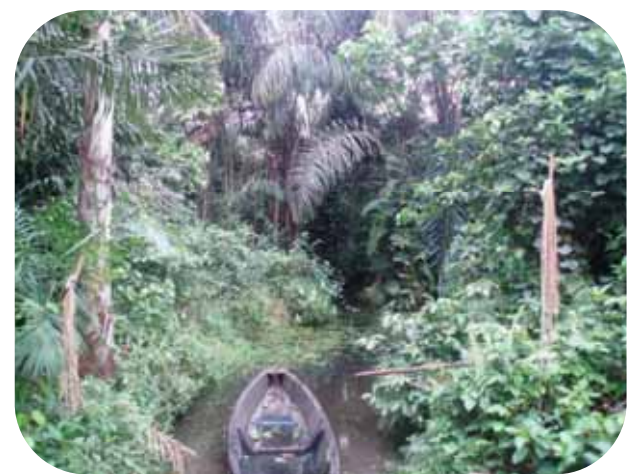
C



D



E



F



📷 A,C,E,F: 辻坂文子 B,D: 松本和人



P.7のこたえと解説です。



日本人にとって馴染みの薄い国ベナンの概要を多面的に把握する。

すべてベナンの写真です。

A ポルト・ノボ

ポルトガル語の「新しい港」という意味の都市で、ベナンの政治的首都として国会があります。かつての王国後の都が置かれていた都市で王宮跡やフランス植民地時代の建物など残っています。コトヌーのような大都市ではありませんが、のんびりした落ち着いた雰囲気のある街です。

B ナティティンガー

ベナンで最も標高が高いアタコラ山脈のふもとです。ベタマリベ族が立てたタタソンバという泥壁とかやぶき屋根の家がある村は観光名所になっています。

C グランボボ

ベナンのリゾートです。

D ガンビエ

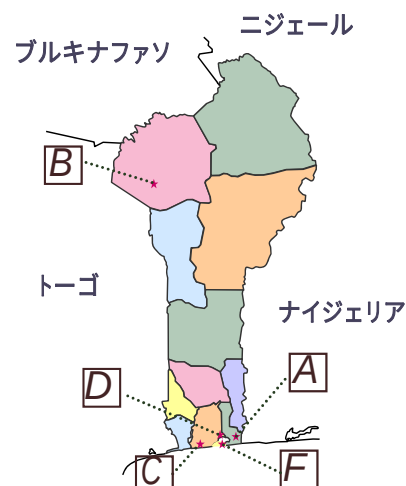
コトヌーの北、ノクウェ湖に隣接する水上都市です。4万人のアイゾ族が暮らし、アフリカのベネチアと呼ばれています。奴隷貿易から逃れるために住み着いたのが始まりとも言われています。家はもちろん、学校や病院や警察や銀行もすべて水上。ピローグと呼ばれる丸木舟で移動します。

E ベナン南部のジャングル

南部は水が豊富で、緑が豊かです。

F コトヌー

ベナン最大の都市で、政府官公庁、各国大使館、国際空港、国立病院など、国会以外の主な国の機関はコトヌーにあります。コトヌーは、フォン語で「死の川の河口」という意味。奴隷貿易を行っていた歴史に由来していると言われています。何でも手に入るというベナン最大の市場「ダントツパ市場」があり、街は活気にあふれています。



タタソンバ

松本和人

ベナンという国

南北に伸びる縦長の国で、北へ行くほど標高が高くなります。南部は高温多湿の熱帯雨林気候、北部は乾燥したサバンナ気候です。南部は、3月～7月と9月～11月の2回雨季があります。17世紀ごろダホメ王国がこの地域を治めていましたが、19世紀末にはフランスの植民地になりました。1960年に独立してダホメ共和国に、1975年にベナン共和国と改称しました。フランス語が公用語ですが、46の部族がいて、それぞれの民族のことも話されています。主な産業は農業で、綿花、パームやし、落花生、コーヒーなどを生産します。65%の人はブドゥー教を信仰しています。

かつては、奴隷貿易の中継地としてギニア湾沿岸は奴隷海岸と呼ばれていましたが、独立してからは、部族間の紛争もなく、平和でおだやかな国です。また、民主政治で政治がとても安定しており、「アフリカにおける民主化のモデル国」と言われています。一方で、貧困、教育、衛生面の課題も抱えています。

ベナンにまつわるウソ？ホント？

① ところで、みなさんはベナンのこと、どのくらい知っていますか？



① ベナンには40以上の部族がいます。



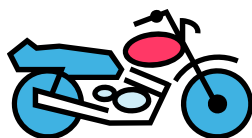
② ベナンも今は平和な国ですが、最近まで紛争で苦しんでいました。



③ ベナンには、残念ながら世界遺産はありません。



④ ベナンの人々の日常生活の「足」は、バイク。免許がなくても運転できます。



⑤ ベナン人のほとんどがイスラム教徒です。



⑥ ベナンには一夫多妻制があります。



⑦ ベナンの学校制度は、日本と同じ6・3・3制です。



⑧ ベナンの学校は、英語で授業を行います。



⑨ ベナンでは、洋服が欲しいとき、布を買ってきて、仕立て屋さんで作ってもらいます。





- 1 **○**
ホント フォン族、ヨルバ族、アジャ族、バリタ族、プール族、ソンバ族など46部族からなります。公用語はフランス語ですが、フォン語などそれぞれの民族のことも話されています。
- 2 **×**
ウソ ベナンは、部族間の争いが無い平和で治安のよい国として知られています。特に政治は、複数政党による民主政治が行われ、アフリカのほかの国では見られないほど安定しており、「アフリカにおける民主化のモデル国」と言われています。
- 3 **×**
ウソ 首都ポルト・ノボの北西約140kmにあるアボメイの王宮が1985年、世界遺産に指定されています。アボメイ王国(後のダホメ王国)は、17世紀初めに建てられ、300年間西海岸最強のフォン族の王国として繁栄しました。現在、アカバ宮殿など12の宮殿遺跡と要塞跡が散在し、王宮の一つは、アボメイ歴史博物館になっています。1984年の竜巻によって大被害を受けましたが、世界遺産基金の援助等を受け2007年危機リストから解除されました。
- 4 **○**
ホント ベナンはバイク王国です。公共交通機関があまり整っていないベナンで、人々の交通手段はバイクなのです。免許を取る必要はなく、ヘルメットをかぶる必要もありません。日本製のバイクもたくさん走っています。また、黄色いユニフォームが目印のバイクタクシーは「ゼミジャン」と呼ばれ、これもベナンの生活には欠かせません。ちなみに、いわゆる自動車タクシーもないわけではありません。走っているタクシーに向かって行き先を叫んで、同じ方向なら止まってくれます。7人乗りが一般的で相乗りが普通です。
- 5 **×**
ウソ ブードゥー教という伝統的宗教を信じている人が65%、キリスト教20%、イスラム教15%です。ブードゥー教は自然崇拝で蛇を神様として大切にします。生贄やのろいなどがあると聞くとちょっと怖いと思いますが、日本の八百万の神々と共通するところがあります。奴隷貿易で有名なウィーダは、ブードゥー教の信仰があつた土地としても有名で、ブードゥー教は奴隷とともに世界に広がりました。ブードゥーはフォン語で「精霊」を意味します。
- 6 **○**
ホント 都市では核家族化が進んでいますが、農村部ではまだ一夫多妻制(ポリガミ)が残り、大家族が一般的です。多くの部族は父系制で、年長者を敬います。
- 7 **×**
ウソ 現在の学校制度は、幼稚園、小学校6年、中学校第1課程4年、第2課程3年のあと、職業訓練専門学校や大学に進学します。義務教育は6歳～16歳間の10年間ですが、入学年齢に制限はありません。
- 8 **×**
ウソ 公式の教育はフランス語で行われます。大学入学にあたってはバカロレア試験があるなど、ベナンの教育システムは、フランスの教育システムの影響を強く受けています。
- 9 **○**
ホント アフリカの伝統的な布「パーニュ」を買って仕立ててもらいます。ベナンの民族衣装は「ボンバ」と言います。男性は丈の長い上着の下にズボンをはき、女性は長袖の短い上着に長い腰巻を巻きます。



ベアンジン王(1890～1894)の宮殿

松本和人



バイクタクシー ゼミジャン

辻坂文子



辻坂文子

ちょっぴり刺激的なベナン料理

① ベナン料理、どんな特徴があるでしょう？

- 1 次の写真は、ベナン料理を写したものです。さて、写真を見てどんなことに気がつくですか？
ベナン料理の特徴は何でしょう？

A



B



C



D



すべて 辻坂文子

- 2 ベナンの主食は何だと思いますか？

- 3 では、上の料理の中でみんなが食べてみたいのはどれ？ グループで話してみましょう。



P.11のこたえと解説です。



お料理を通して、ベナン人の日常生活に触れ、興味関心を高める。

- ① **A** アボボ(豆の煮込み)とゆで卵、揚げ魚
 - B** 焼き豚とバ(キャッサバでつくるお餅のような食べ物)
 - C** イニャムピレ(ヤムイモをゆでて杵でついて、お餅のようにしたてたもの)とピーナッツソース、揚げチーズ
 - D** アプロ(とうもろこしの粉)でできた蒸しパン
- ② 主食はとうもろこしです。食事は普通1日3回。朝食は外食の場合も多く、お粥などを食べることもあります。基本的には、パットとヌスヌですが、ヤムイモやキャッサバなども食べます。また、季節の果物も食べます。特にパイナップルは絶品でとてもおいしいです。ベナン北部は家畜の飼育などもされていますが、肉はあまり食べません。

ベナン料理

ベナン料理の基本形は、「パット(とうもろこし、ヤムなどの粉を餅状にしたもの)とヌスヌ(ソース)」または「ご飯とヌスヌ」。そこに野菜などが加わります。



ウォ(とうもろこしのパット)を作っているところ



ヌスヌに入れる野菜



ヌスヌ(ソース)を作っているところ



ベナンでよく食べられる
ピーナッツ菓子「コンカーダ」



アプロやさん



イニャムピレを作っているところ



ベナンで採れる果物
(大きいバナナは調理用)



キャッサバ



すべて 辻坂文子



ちょっとブレイク

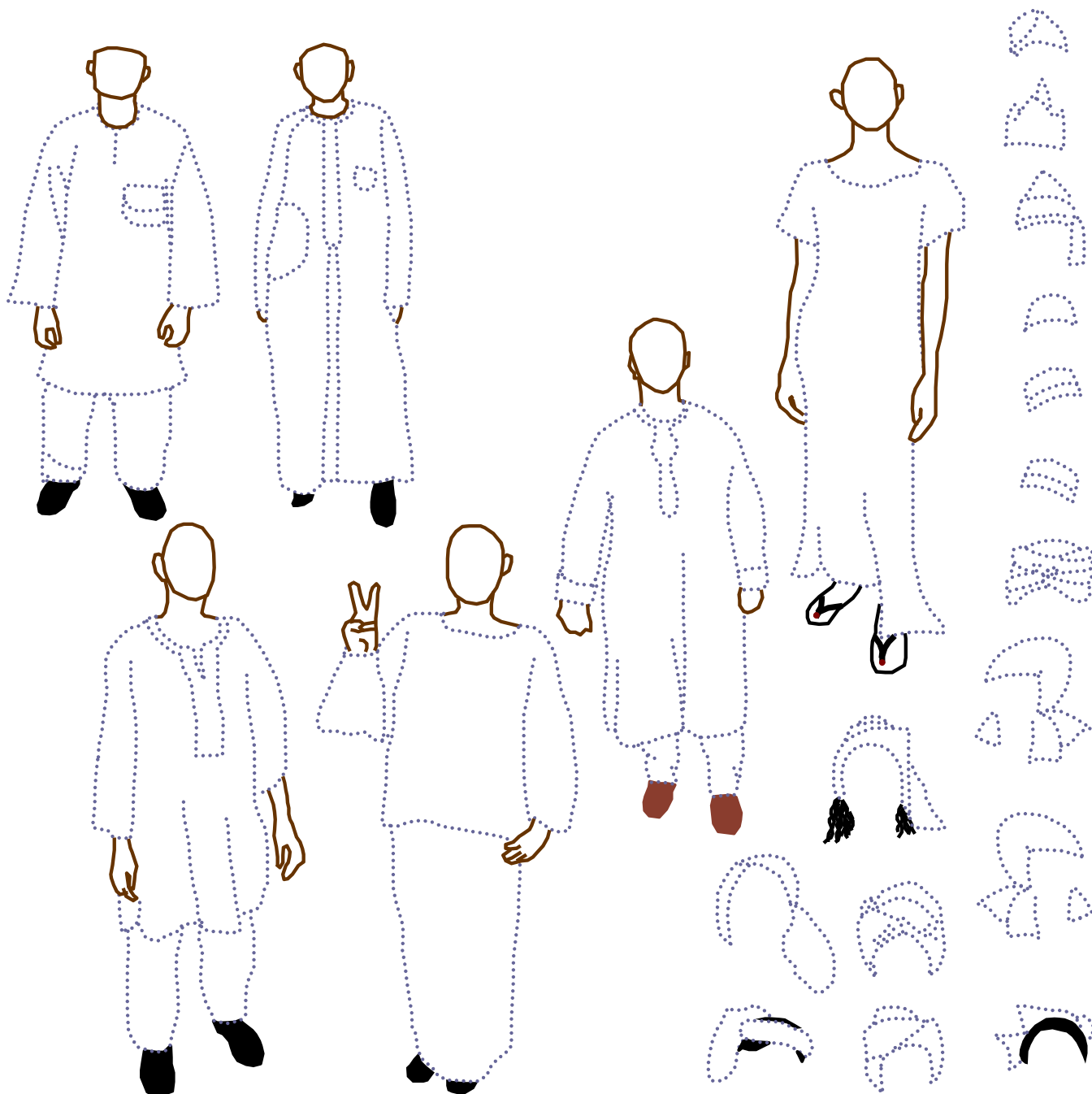


マイ・ボンバで気分はベナン人♪

「パーニュ (Pagne)」は西アフリカの伝統的な布で、フランス語で「腰布」を意味します。1890年ごろ、インドネシアのバティック(ろうけつ染め)をまねてオランダで作られた布がガーナに持ち込まれたことから広まったそうです。動植物や幾何学模様、生活用品にいたるまで、様々な模様がカラフルに描かれています。

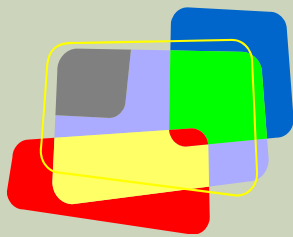
アフリカには他にも「カンガ (kanga)」、「キテンゲまたはチテンゲ (kitengeまたはchitenge)」、「シュエシュエ (Scuie Scuie)」など伝統的な布があります。「カンガ」は、タンザニアやケニアなど東アフリカの国々で用いられるカラフルなプリント布。カラフルな模様とともに、スワヒリ語のメッセージが書かれているのが特徴です。ちなみに、「カンガ」はスワヒリ語で「ホロホロチョウ」のことです。「キテンゲ」はウガンダ、ケニア、タンザニア、コンゴ、ザンビアなど主にアフリカ東部から南部にかけて見られる布で、色は少し渋めです。そして、「シュエシュエ」は、19世紀半ばに南アフリカに開拓にきたヨーロッパの女性達が着ていた「藍地に白抜き小紋ドレス生地」が起源のコットン生地です。

アフリカの人々はとてもおしゃれで、多くが市場などで布を買い、自分の好きなデザインに仕立ててもらおうオーダーメイド。世界に1着しかない自分だけの民族衣装なのです。さて、みなさんも、下のパターンに好きな色を塗って自分だけのベナンの衣装「ボンバ」をデザインしてみましょう。



 第2章

へえ～！ベナンと日本



外国語を学ぶということ…ベナンの日本語教育



ベナンといえば、日本人が思い出すのはゾマホンさん。
ゾマホンさんや多くの人々の尽力で、今、ベナンでは日本語教育がとても盛んです。

- ① 今からみなさんにカードを配ります。それぞれ声を出して読んでみてください。



- A クド ザンザン！
- B クド ウェメ！
- C クド バダ！
- D エダボ
- E ア ウワヌ カカ！
- F エスワ

- ② 実は、今みなさんが声を出して読んでくれたのは、ベナンの人たちが使っていることばの1つ『フォン語』でした。
(→P.16フォン語および意味の説明)
では、今度は意味を意識しながら、グループでフォン語であいさつしましょう。

- ③ もう少し、フォン語の問題です。ベナンの人たちがよく使うあいさつに「A blo kpede a?」というのがあるそうです。
例えば、仕事から帰ってきたお兄さんに向かって、「おかえりなさい。A blo kpede a?」
地域の活動に参加して帰ってきた子どもに向かって、「おかえりなさい。A blo kpede a?」
さて、何と言っているのでしょうか？ グループで想像してみましょう。

- ④ 最後の問題です。今、世界中で日本語を学習している人は何人いると思いますか？

- ⑤ さて、最初は、意味もわからないまま、フォン語のカードを読みました。
次に、これが何語か、どこの国の人たちが話しているのか、意味は何なのかを知った上で、あいさつをしました。
そして最後に、日本とはちょっと違う言い回しを覚えました。ベナンの人たちの考え方がちょっぴり垣間見えるフレーズでしたね。さらに、世界で日本語を勉強している人が、どれだけいるのかを知りました。
これらのことを通して何を感じましたか？ 感想をみんなで話し合ってみましょう。



P.15のこたえと解説です。



ことばを通して、その国の人々の考え方に触れるとともに、世界中の多くの人々が日本に関心を持ってくれていることに誇りを持つ。

1



[A] クド ザンザン！	おはようございます
[B] クド ウェメ！	こんにちは
[C] クド バダ！	こんばんは
[D] エダボ	さようなら
[E] ア ウワヌ カカ！	ありがとう
[F] エスワ	どういたしまして

- 3 「A blo kpede a?」というのは直訳すると、「少し働きましたか?」という感じの言い回しです。日本なら、「ちゃんと仕事してきた?」「よく働いた?」という聞き方をすることが多いのですが、ベナンの場合は「少し」となるのです。その理由は、「人間は死ぬまで働かなければいけない。毎日少しずつ働いて、最後『たくさん働いた』と言って死ぬのだ。」と。なるほどお! ことばにもその国の人たちの考え方が表れているのですね。

- 4 海外の日本語学習者は133か国・地域の298万人。

国際交流基金2006年調査

ベナンでは、ゾマホンさんのIFE財団が運営する「たけし日本語学校」で多くの学習者が日本語を学び、優秀者は、日本への留学の機会を与えられています。

- 5 「ことばを学ぶ」ということは、そのことばを使っている人たちの文化や考え方を学ぶということであり、そのことによって、その国の人たちを身近に感じ、親近感を持つことができるということを体感しましょう!

世界における日本語教育の状況

2006年国際交流基金の調査によると、

●国別の学習者数

- 1位 韓国 91万人
- 2位 中国 68万人
- 3位 オーストラリア 37万人
- 4位 インドネシア 27万人
- 5位 台湾 19万人

●人口に占める学習者の割合

- 韓国 52人に1人、
- オーストラリア 55人に1人
- 中国 およそ1,900人に1人
- 米国 およそ2,500人に1人

●地域別の学習者数

- 学習者全体の約6割が東アジアに集まっています。
- 次に多いのが東南アジア(14.8%)、その次が太洋州(13.4%)、北米(4.8%)と続きます。
- つまり、アジアと太洋州で学習者全体の約9割を占めていることになります。



国際交流基金



ブードゥー教の儀式



ブードゥー教 神聖な泉の脇にあるお祈りの場所



ウィダの蛇寺



村の家 おまじない



ダントッパ市場内のビーズ屋

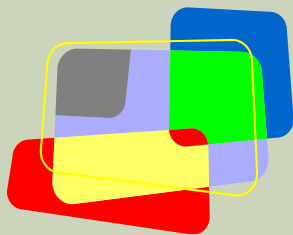


長距離タクシー



第3章

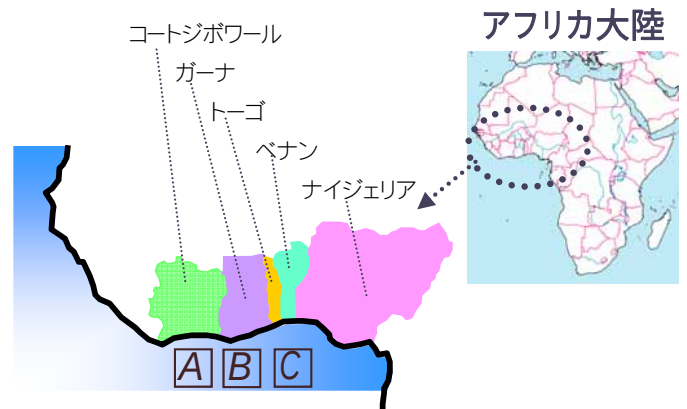
一緒に考えよう！こんな課題



悲しい歴史『奴隷貿易』がアフリカに残したもの

① 現在のアフリカの貧困の原因のひとつは「奴隷貿易」にあるとも言われています。

- ① かつて、西アフリカ一帯はその国の主要産品にちなんで「〇〇海岸」と呼ばれていました。右の地図のA,B,Cはそれぞれ何海岸と呼ばれていたでしょう？



- ② では、次の写真の門は何を意味するものだと思いますか？ 想像してみましょう。



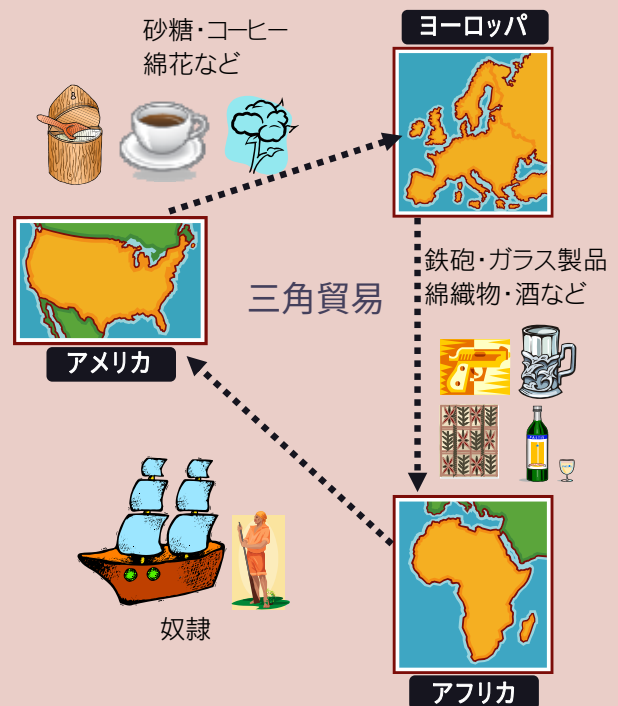
松本和人

- ③ 上の「帰らざる門」も「喪失の木」もベナンのウィダという町にあります。次の資料を読んでみましょう。

ベナン沿岸部はかつて奴隷貿易の一大中継地として栄え、「奴隷海岸」と呼ばれていました。15世紀以降、ヨーロッパの奴隷商人が、アフリカで奴隷を買い、アメリカで売って得た商品をヨーロッパで売るという三角貿易を行ったのです。売られた奴隷の総数は1500万人から2000万人といわれていますが、4000万人以上という推計もあります。

当時のダホメ王国の都アボメーからウィダの積出港まで道は117kmありましたが、その道沿いには奴隷市場や収容所があり、「奴隷の道」と呼ばれています。当時、アフリカからアメリカまでの航路はおよそ5週間かかりました。奴隷たちは身動きできないほど詰め込まれ、衛生状態や食糧事情が悪く伝染病でなくなったり、不安のため海に飛び込んで自殺したりするなど3人に1人が亡くなったとも言われています。

産業革命以降、奴隷貿易に対する批判が高まり次第に廃止されていきますが、奴隷の大多数が働き盛りの男性だったことから、この奴隷貿易によってアフリカは大きな打撃を受け、それが現在の貧困や飢餓などの原因のひとつであると言われています。



- ④ 写真や資料を見てどんなことを感じましたか？ 感想を話し合ってみましょう。



P.19のこたえと解説です。



歴史を客観的にとらえ、現在は過去とつながっていること、1つの国の出来ごとは他の国ともつながっていることに気づく。

1 **A** 象牙海岸 **B** 黄金海岸 **C** 奴隷海岸

2 **D** 「帰らざる門」または「戻られざる門」(The Gate of No Return)

「奴隷の道」の最終地点、奴隷貿易船が入港していた海岸に1995年建てられたモニュメントです。この門をくぐったら、2度と帰ってこれないと、アフリカ人奴隷にとってこの海岸が故郷での最終地点であったことを表しています。

写真はありませんが、ウィダには「忘却の木」というものもあります。奴隷市場で売られ、長い長い道のりを足かせをつけたまま歩かされた後、船に乗る前に、この木の周りを何周も周らされたといひます。そうすることで、故郷を思い出すことがないよう、故郷を忘れることを強いられたのです。

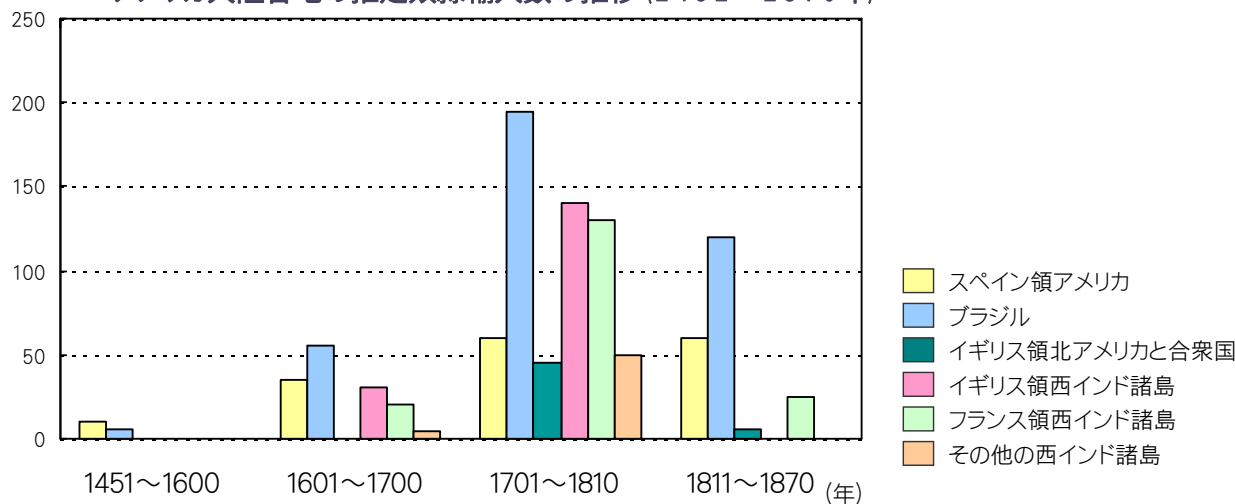
奴隷貿易の歴史

もともと、アフリカの伝統的王国では、奴隷制を持っていました。周辺部族から武力、あるいは交易によって獲得した奴隷を労働力として使っていたのです。

ヨーロッパ人によるアフリカ黒人を対象とした奴隷貿易が問題となるのは、大航海時代以降、主にアメリカ大陸に開かれた広大なプランテーション経営のために黒人が使われるようになってからです。また、このころ、中南米で鉱山労働などに使われていたインディオが重労働と伝染病のため激減し、それに代わる労働力としても黒人奴隷が求められました。16世紀の奴隷貿易は、ポルトガル、スペインによって展開されましたが、17世紀になるとオランダ、イギリス、フランスなども奴隷貿易に乗り出しました。西欧諸国がアフリカからアメリカに運んだ黒人奴隷の総数は、1500万人から2000万人程度というのが通説になっていますが、それ以上という説もあります。

この奴隷貿易は、産業革命以降、批判が強まり、廃止されていきます。

(万人) アメリカ大陸各地の推定奴隷輸入数の推移(1451~1870年)



『アフリカを知る事典』平凡社

地域と地球はつながっている！途上国の課題は私たちの課題でもあるのです

奴隷貿易についてはさまざまな感想があると思いますが、このプログラムは、奴隷貿易の是非を問うことを目的としているわけではありません。アフリカの現状は、こうした悲しい歴史のもとにあるということ、そしてそこには、現在、先進国と言われている国々も関わっていたということに気づくことがねらいです。多くの国々の貧困問題は、その国々だけの責任ではありません。環境や平和などさまざまな地球規模といわれている課題も同じです。

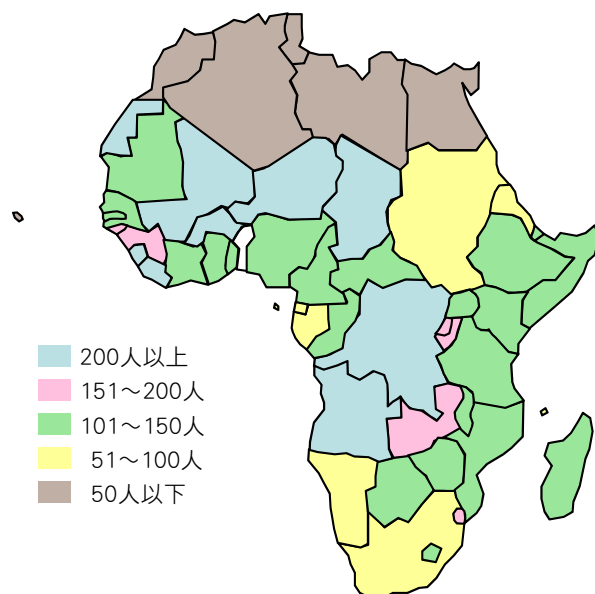
わたしたちの日常の生活が地球全体につながっているということに気づきましょう。

平和の国ベナン、でも…

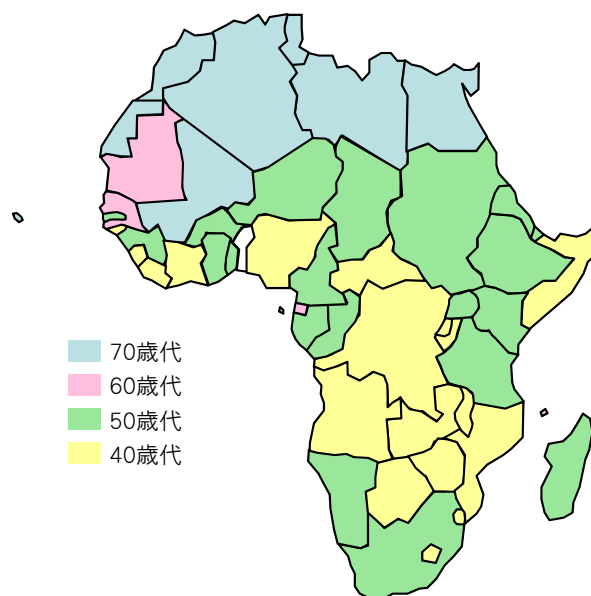
① ベナンは紛争もなく、とても平和な国です。でも、課題がないわけではありません。

- ① ベナンの人たちはとても明るく、「お互いに支えあう」という気持ちをとても大切にしています。独立してから紛争もなく、アフリカでは平和な国、民主的な国として知られています。そんな平和であたたかい国ベナンにも課題がないわけではありません。下の地図はアフリカの国々の状況をあらわしたものです。それぞれの指標について、ベナンは何色になるでしょう？ 色を塗ってみましょう。

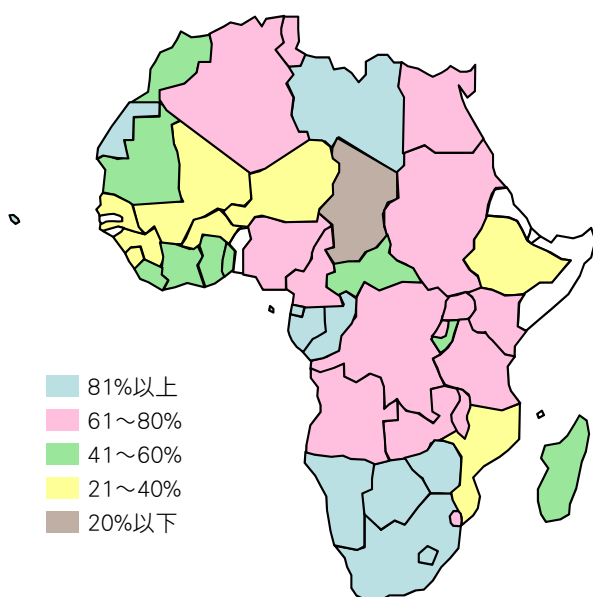
A 5歳未満児死亡率 (1,000人あたり)



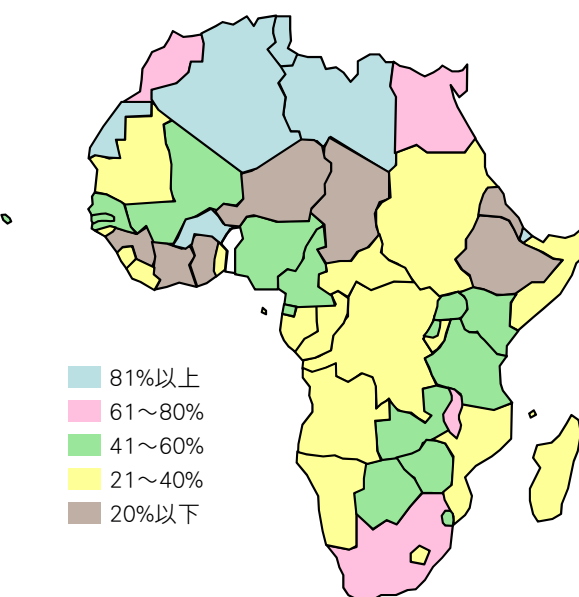
B 出生時の平均余命



C 成人の総識字率



D 適切な衛生施設を利用する人の比率



「世界子供白書2008」を参照して作成

- ② 上の地図を見て、どんなことに気づきますか？ 思ったことを何でも出し合ってみましょう。



P.21のこたえと解説です。



地球の現状、アフリカの状況を知り、日本の私たちの生活が当たり前でないことに気づく。

- A** ■ 5歳未満児死亡率 148人
- B** ■ 出生時の平均余命 56歳
- C** ■ 成人の総識字率 35%
- D** ■ 適切な衛生施設を利用する人の比率 33%

数字の意味すること

A 5歳未満児死亡率 (単位:人)

現在の死亡率がそのまま続くと仮定した場合に、出生から5歳の誕生日を迎えるまでの間に子どもが死亡する確率を、出生1,000人あたりの数字で表したものです。現在、5歳未満児の死亡の約40%が、多様な合併症がもとで新生児期(生後1ヵ月以内)に命を落としています。肺炎と敗血症、その他下痢性疾患、マラリア、はしか、エイズなどで多くの子どもが命を落としているのです。さらにその原因として栄養不良が全体の50%を占めますが、安全でない水、衛生習慣の欠如、不適切な衛生施設(トイレ)も重要な要因となっています。

 ユニセフウェブサイト

B 平均余命 (単位:歳)

今、生まれたばかりの子どもが、その時のその国の状態がずっと続いた場合、ここまで生きられるであろうと予測された年月のことです。日本の平均余命は80歳を超えていますが、アフリカの国の中にはその半分以下のところもあります。南アフリカの平均余命は47歳(2003年)で、エイズの蔓延とともに年齢が下がり、2010年には40歳を割り込むと予測されています。

 世界保健機構 (WHO) 2003

C 成人の総識字率 (単位:%)

15歳以上で読み書きできる人の数です。当該年齢層の総人口に占める比率で表します。現在世界で、15歳以上の5人に1人が非識字者で、その数は8億6100万人にのぼり、3分の2を女性が占めています。また学校に行くことのできない子どもの数は1億1300万人を数える。「国連識字の10年(2003年~2012年)」の目的は、識字の重要性を訴え、識字率向上を世界に喚起することにあります。テーマは“Literacy as Freedom”です。

 ユネスコウェブサイト

D 適切な衛生施設を利用する人の比率 (単位:%)

不適切な衛生施設(トイレ)は、子どもたちの生存を脅かします。糞便で汚染された環境は、5歳未満児の最大の死亡原因である、下痢性疾患に直結するからです。たとえ少数でも屋外での用足しの生活を送る人々がいるのであれば、適切な衛生環境の実現は極めて難しくなります。現在世界で、25億人もの人々が、不十分な衛生施設(トイレ)で苦しんでおり、12億人近くが屋外で用を足しています。また、同じ国の中でも農村部と都市部で格差が生じています。世界的には、農村地域ではおよそ7億4,600万人と、都市部の家庭の1億3,700万人と比べて実に4倍の安全な水源を利用できない人々がいるのです。

 ユニセフウェブサイト

アフリカの状況、そしてベナンの課題

「貧困」について、所得以外の生活の質や社会的側面から測定した数値を「人間貧困指数」といい、①40歳まで生存できない出生時確率、②成人非識字率、③改善された水源を継続して利用できない人口および年齢の割に低体重の子ども割合の3つをもとに算出します。この数字によるとアフリカ、特にサハラ以南の国々は貧困指数が高く、多くの人々が苦しんでいる状況です。ベナンも同じです。そうした中、ベナン共和国のボニ・ヤイ大統領のことはばです。

「私の最大の関心事であり、またベナンの民主化を促進していく上で問題だと思うことは、全国民の飲み水の確保が不十分であること、初等学校がまだ普及していないこと、そして、病院の不足です。ある地域では、綺麗な水が飲める人は1/5、診療所を利用できる人は2/5、学校に行くことができる子供は3/5しかいません。全ての子供たちが平等に学校に通えない状況で、そして全ての人々が綺麗な水も飲めない状況で、全ての人が平等に病院にも通えない状況では、正しい民主化の道は歩めません。なので、私の任期が終了するまでに、2,000の病院、2,000の学校建設、2,000の井戸を掘ることは私の信念です。」



フォトギャラリー ～ベナンの子どもたち～

辻坂文子



ベナン中部の村の子どもたち



天使の
スマイル♪



小学生 仲良し3人組



こちらはちょっと
お兄ちゃん
中学生と高校生



小学校の
授業風景



ママと一緒にハイ、ポーズ！

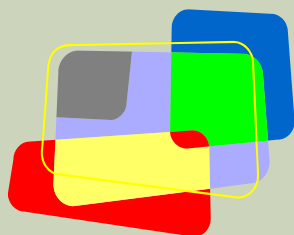


バナナ売りの女性の後ろからチラリ



第4章

そして未来へ



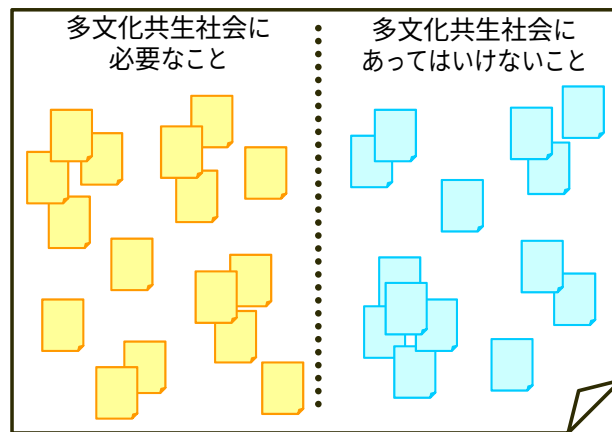
『多文化共生社会』ってどんな社会？

① 地球のみんなが一緒に生きていくということは
ということなのでしょう？



- 1 みなさんは、『多文化共生社会』ということばを聞いたことがありますか？
「多くの文化が共に生きる社会」というのは、いったいどんな社会でしょう？
「多文化共生社会に必要なこと」を黄色い付箋紙に、「多文化共生社会にあってはいけないこと」を青い付箋紙に書き出してみましょう。付箋1枚に1項目ずつ、できるだけたくさん書いてみてください。

- 2 4～6人のグループに分かれましょう。
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「必要なこと」、右側には「あってはいけないこと」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- 3 模造紙にまとめたことをもとにグループで「多文化共生社会とは……な社会」という文章をつくってみましょう。

- 4 では、そんな社会を実現するために、私たちにできることは何でしょう？
一人ひとり、A4の紙に「私たちにできること7か条」を書いてみましょう。

- 5 一人ひとりがつくった7か条をもとに、グループで「多文化共生社会を実現するための7か条」にまとめ、右のように模造紙に書いてみましょう。

- 6 全員で発表し、感想を話し合しましょう。

多文化共生社会とは

な社会

そんな社会を実現する
ための7か条★

- ★1
- ★2
- ★3
- ★4
- ★5
- ★6
- ★7

号外！号外！20年後の新聞です



20年後の地域と地球はどうなっているでしょう？
どうなっているといいでしょう？

みなさんは新聞記者です。20年後の明日発行する新聞記事を書いているところです。

20年後はどんなニュースが新聞に載っているでしょうか？ だれにでもわかりやすいことばでまとめてみましょう。

- 1 まずは、グループで新聞名を決めましょう。
模造紙を横にして半分に区切り、
新聞名と日付を書き込みましょう。

20xx年○月△日	20xx年○月△日

○
☆
新聞

- 2 20年後地域と地球がこんな風になっている
といいなと思うことを想像し、ニュース記事に
まとめてみましょう。模造紙の右半分に地域のニュースを、左半分に地球のニュース（あるいは、ベナンのニュー
ス）を書きます。

- 3 全員で発表し、感想を話し合ってみましょう。

- 4 さて、今の生活を続けていったとき、ニュースにまとめたような地域や地球が実現できると思いますか？
実現するために、自分がやろうと思うことを1つ決めて、グループで共有しましょう。

多文化共生社会

1990年の入管法改正により、主に南米からの日系人が多く日本に住むようになりました。近所や学校、職場に外国籍の方がいるのがあたりまえの状況の中でことばの問題、文化・生活習慣の違いからくるトラブル、子どもたちの教育問題、近年の経済悪化による雇用の問題などさまざまな課題が生じています。そうした課題に取り組む中で目指しているのが、「多文化共生社会」の実現です。この「多文化共生社会」とは、「国籍にも、性別にも、年齢にも、障害の有無にも関わらず、すべての人が暮らしやすい社会」と位置づけられています。愛知県が2008年にまとめた「多文化共生推進プラン」では、愛知がめざす多文化共生社会を『国籍や民族などのちがいにかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会』としています。そうした社会を実現するために、2006年には、総務省から各自治体に向けて「地域における多文化共生推進プラン」が出されました。その中では、特に外国籍住民も暮らしやすい社会を創るために、次のようなことに取り組んでいくと書かれています。

● コミュニケーション支援

多言語による情報提供、相談窓口の設置、日本語学習の支援など

● 生活支援

入居差別の解消、教育にかかる情報提供、進路指導、就業支援、就業環境の改善、外国語対応可能な病院・薬局等の情報提供、医療通訳者の派遣、健康診断・健康相談の実施、高齢者や障害者への対応、災害時の通訳ボランティアの育成、災害時の情報の多言語化など

● 多文化共生の地域づくり

地域住民への啓発、多文化共生の拠点づくり、外国籍住民の地域社会への参画推進など

地球的課題 (グローバルイシュー)

一国では解決することが難しい、人類共通の課題を「地球的課題」「地球規模の課題」「グローバルイシュー」といいます。大きく分けると4つ。これらの課題は、包括的かつ相互的に関連しています。

● 地球環境

先進国の経済成長などに伴うオゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、海洋汚染、ごみ問題、野生生物の絶滅など地球規模で発生している課題です。

● 貧困と開発

南北問題に伴う貧困。それによる食糧不足、飢餓、衛生面での問題、教育の問題、児童労働など子どもや女性など弱者にかかる問題、持続可能でない開発による環境破壊など。地球規模の構造的な課題なので、途上国だけでは解決できません。

● 平和と安全

核兵器や生物化学兵器など、国境に関係なく被害を及ぼす兵器の根絶、テロの問題、地域紛争の解決と平和維持、児童兵士の問題などです。

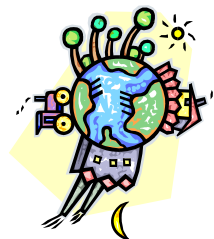
● 人権

民族差別や紛争などにおける難民の問題、貧困と開発のために過剰な労働を強いられる女性や子どもの問題、人間として最低限必要なものさえ保障されない極度の貧困の問題などです。

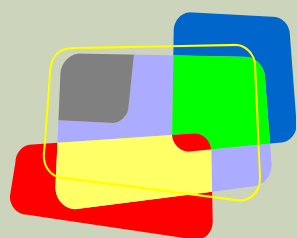
地域の課題と地球の課題はつながっている ～「持続可能な」社会を創るため～

地域の課題と地球の課題は別のものと考えてしまいがちですが、だれもが暮らしやすい「持続可能」な社会を創るという意味では共通しています。また、地域の課題を解決していけば地球の課題の解決にもつながりますし、地球の課題を解決しなければ、地域の未来もないのです。

地域の課題も地球の課題も「だれかが解決してくれる」ものではありません。途上国の多くの課題も原因を突き詰めていけば、わたしたちの日常生活につながってきます。わたしたち一人ひとりが地球の一員として、地域の一員として、自分の問題として、解決に向けて取り組んでいかなければ、次世代に課題を持ち越してしまうことになるのです。



参 考 資 料



目で見えるベナン



1989年、経済政策の行き詰まりから社会主義路線を放棄し、1990年に国名から「人民」を除くと同時に、国旗を現在の、独立当時のものに戻しました。緑の部分は幅の5分の2と決まっており、緑が南部地方のシュロの森、黄色は北部地方のサバンナ、赤は国土とその独立のために流された血を表します。

●人口●

 880万人 (2006年 世銀)



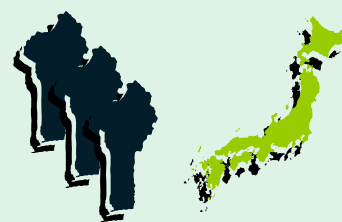
 128百万人



●面積●

 112,622km²
(日本の約3分の1)

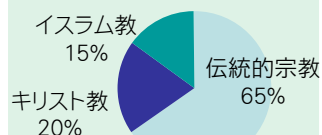
 377,887km²



●言語●

フランス語 (公用語)

●宗教●



●気候帯●

熱帯雨林気候、
熱帯サバンナ気候
内陸部:ステップ気候

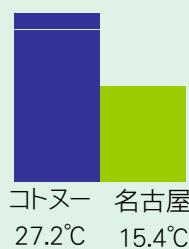
●通貨●

CFAフラン
655.957CFAフラン=1ユーロ
(固定レート)

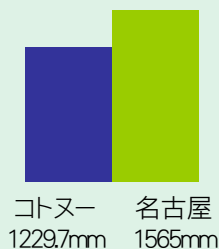
●民族●

フォン族、ヨルバ族 (南部)、ア
ジャ族 (モノ、クウォ川流域)、バ
リタ族、プール族 (北部)、ソンバ
族 (アタコラ山地、トーゴ間) 等
46部族

●平均気温●

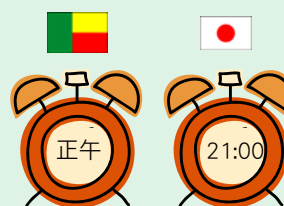


●年間降水量●



●日本との時差●

−9時間



◆国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修 (Gakken) ◆人口・面積・首都・民族・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆日本の人口:世界子供白書2008 (ユニセフ) ◆日本の面積:総務省統計局「日本の統計」◆気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」◆名古屋の平均気温・年間降水量:気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」(S46~H12年の平均) ◆言語・日本との時差:世界の国一覧表 (財団法人世界の動き社)

農業（綿花・パームオイル）
サービス業（港灣業）



セメント類、自動車類、ゴム製品等

 540米ドル (2006年世銀)



 38,410米ドル(2006年世銀)



45人(2006年10月現在)

31人(2006年末現在)

56年



82年

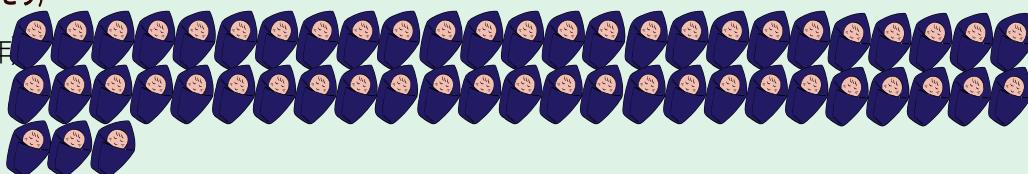


40% (2006年)



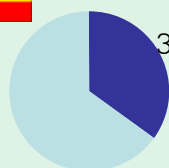
66% (2006年)

53人 (2006年)

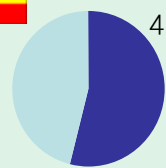


4人(2006年)

35%



46%



A black stick figure is shown from the side, looking at a large green rectangular screen. On the screen is a red line graph that starts at the bottom left and trends upwards with some minor fluctuations, ending at the top right. The figure has a surprised or excited expression, with three small green lines above its head indicating motion or energy. The background is a light blue gradient.

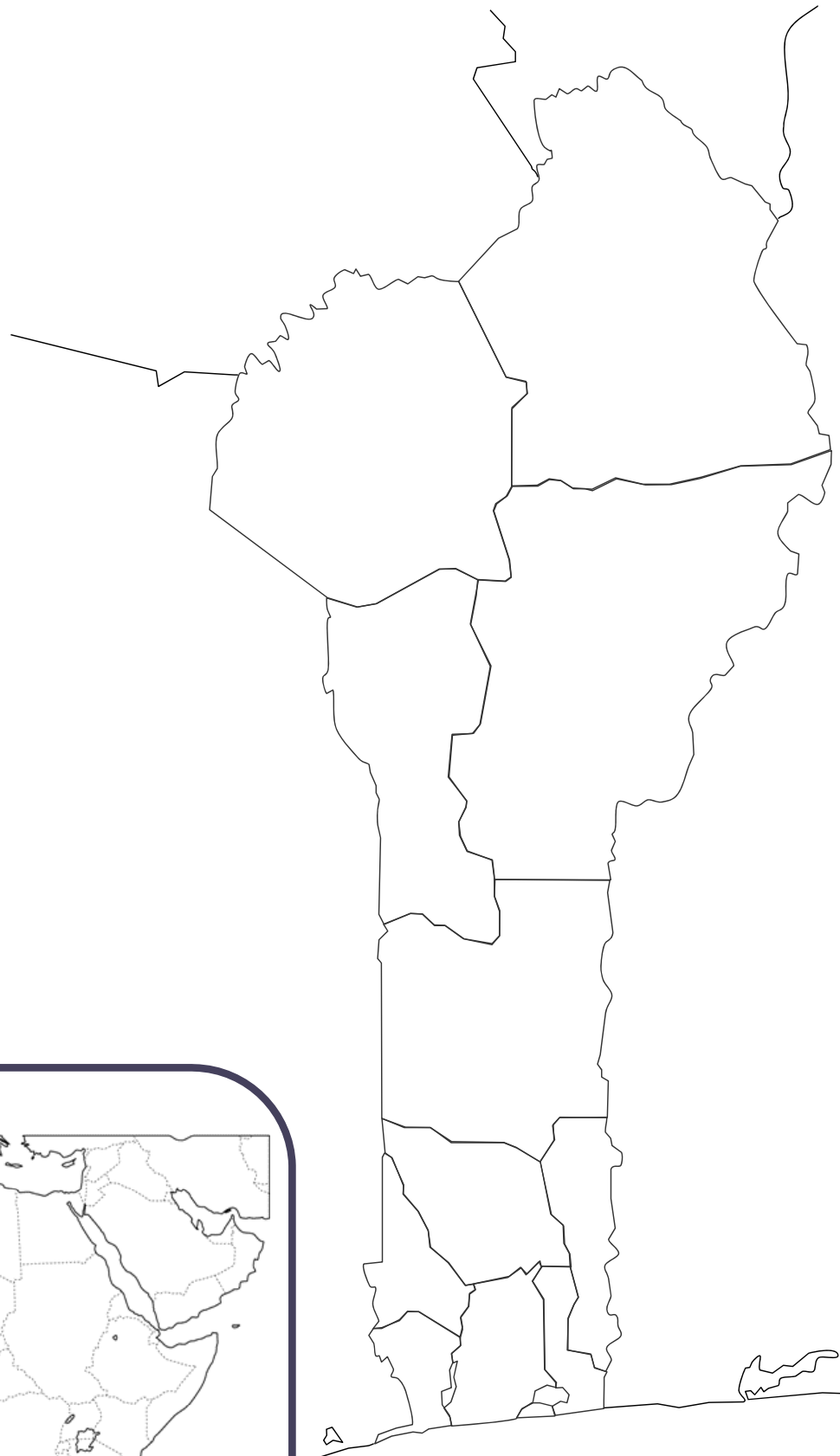


3.3%



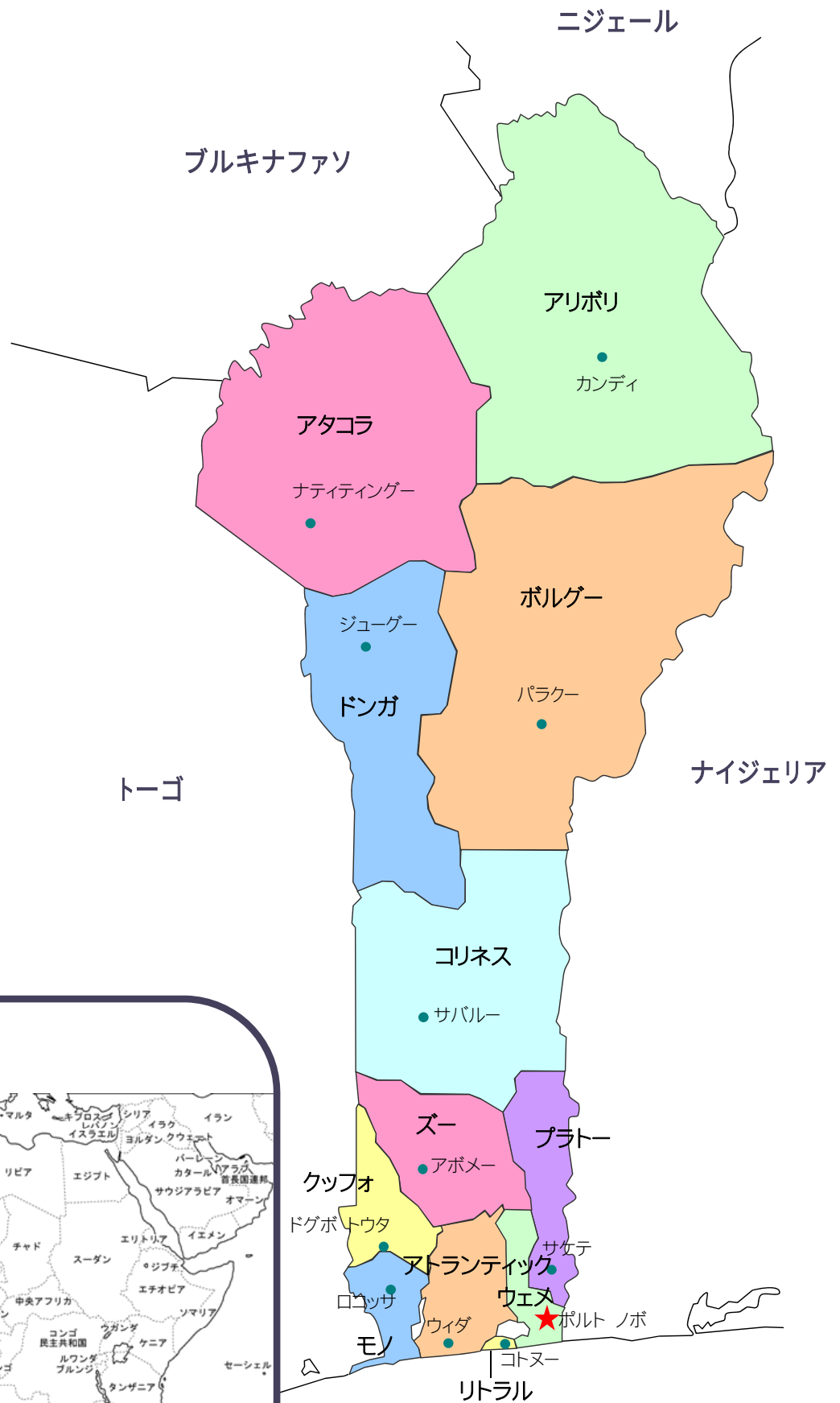
0.2%

ベナン地図



アフリカ





アフリカ



「ベナンってこんな国」ふりかえりシート

位置は？地形は？気候は？



こんな所がある



人々はこんな生活してる



ベナンってこんな国



ベナンの素敵なおとこ

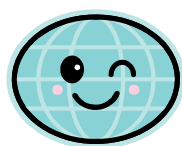


ベナンから学ぶこと



「地球の未来を創る」シート

多文化共生社会を実現するために



「地球の未来を創る」ためにしたいこと

地球の課題を解決するために





参考文献・データ等の出典

- 外務省「各国地域情勢」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- 外務省「探検しよう! みんなの地球」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>
- 総務省統計局「日本の統計」
<http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 財団法人日本ユニセフ協会「世界子供白書2008」
<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 旅して ～世界206ヶ国 & 旅と暮らし
<http://tabisite.com/>
- 「ゾマホンも知らないゾマホンの国ーベナン共和国イフェ日本語学校の今」
ゾマホン ルフィン・小国秀宣 著 (明窓出版)
- 「アフリカを知る事典」(平凡社)

ご協力いただいた方たち [敬称略]

- 辻坂文子 (JICA青年海外協力隊OG)
- 松本和人



2008年度教材作成チーム

一宮市 田原市
長久手町 幸田町
扶桑町

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 ベナン共和国 

2009年3月

発行

愛知県

**企画
編集**

財団法人 愛知県国際交流協会

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号

あいち国際プラザ

TEL:052-961-8746 FAX:052-961-8045

E-mail:koryu@aia.pref.aichi.jp

URL:http://www2.aia.pref.aichi.jp

印刷

株式会社 丸和印刷

